



川西町・三宅町
式下中学校組合 立式下中学校

「学校通信」

Believe (ビリーブ)

—令和3年度第7号—

令和3年6月28日発行 文責 中本克広



校門前掲示板 右は書道部による作品

うぐいすの谷渡り

6月21日、夏至を迎えましたが、学校周辺の木々の中からうぐいすのさえずりが聞こえてきます。今年の春からほとんど毎日のように聞こえるのです。昨年も鳴いていたのでしょうか。あまり思い出せません。うぐいすのさえずりは、空気のきれいな山歩きをしている時に聞いた記憶はありますが、このような平地でも生息しているのですね。学校近くの木々の枝葉の間で、営巣し、生活域を守ろうとしているのでしょうか。

「うぐいすの谷渡り」とは、「ホーホケキョ」ではなく、枝から枝へ飛んでいく時の「キョキョキョキョキョキョキョ、ケキョケキョケキョ、ケッキョ、ケッキョ」と長鳴きすることを言います。声のする方を目を凝らして探してみるのですが、その姿を確認することはできていません。美しいさえずりをもって存在を示す、なんとも魅力的な生き物ですね。私たちの学校が、とても恵まれた環境にあるということを感じます。この環境に感謝しながら、日々の生活を自分なりにがんばっていきましょう。

夏の花苗植え替え活動について

6月17日（木）、生徒会、環境美化委員、ボランティア部のみなさん、教職員による夏の花苗植え替え活動がありました。毎回、三宅町石見自治会フラワーチームの皆様の御協力を得て実施し、生徒たちとあたたかい交流をしていただいております。

おかげさまで、寂しかった花壇や校庭に、華やかさが戻りました。特に、ボランティア部のみなさんは、この日まで花壇の整備等の準備に一生懸命取り組んでくれていました。私は、その様子をとともうれしく思っていました。御参加いただいた皆様、どうも有難うございました。



私たちの生活は、地域の皆様の見守りのおかげで、安心安全が保たれています。
登下校時に、生徒のみなさんとすれちがった地域の皆様から、喜びのお声をいただいています。挨拶の言葉のやりとりが、たいへん心地よく胸に響いたというお話でした。
式下の子どもたちは、「おはよう」「こんにちは」「がんばってね」「お帰り」といった言葉をかけていただいた時に、「おはようございます」「こんにちは」「有難うございます」「ただいまー」など、自分なりの素直な言葉で返してくれるとおっしゃっていました。挨拶の言葉をかけてくださるということは、あたたかく見守っていただいているということだと思います。このことにも感謝したいですね。

最後の夏にかける人たちの姿

関西中央高校の来春の募集停止の発表がなされて以来、特に、今現在、下級生が入っていない高校のことが気になってきました。私たちは、下級生が入学してこないということの寂しさを想像したことがあるでしょうか。また、団体競技の部活動に所属する人のチームが編成できない無念さは想像に難くありません。

その中で、来年3月で閉校となる平城高校のことが思い浮かび、ホームページを見ますと、次のような新聞記事の見出しが目にとまりました。

「来年3月閉校 奈良平城に 天理敬意のエース 達投入」「部員 3年だけ10人 大敗糧に最後の夏」（関心ある方は、平城高校ホームページを御参照ください。）

この記事を読むと、平城高校の10人の部員、2人のマネージャー、そして指導に関わっておられる皆様のことを応援したい気持ちでいっぱいになります。

平城高校野球部を率いる吉岡健蔵監督は、大和広陵高校におられた時に、御挨拶にうかがったことがあります。長年の間、高校野球を通じて生徒たちを指導してこられ、60歳になられたシーズンを平城高校の歴史とともに迎えておられることに対して、深い尊敬の念がこみあげてきます。

平城高校の野球部の姿から、井上ひさしの「ナイン」という小説の中の一場面が思い出されました。9人の少年野球チーム、新道少年野球団が臨んだ大会の決勝戦でのことです。「日差しのきつい屋根のないベンチの前で、キャプテンの呼びかけに応じてメンバーが列をなし、日陰のないところで日陰をつくって、一人で投げ続けるピッチャーを助けようとした」場面です。私は、キャプテンの心遣いとその思いに共鳴できるメンバーの姿に深い感動を覚えました。9人のうち一人でも欠けてしまうとチームが成り立たなくなる。そのことと同じ状況が、現在の平城高校野球部にはあるのです。「One for all. All for one.」の精神を胸に、10人で、一生懸命、日々の練習をがんばっているのだと思います。

学校が閉じられるのは寂しいことですが、平城高校生、平城高校野球部員としての誇りを持って、日々の生活を送り、自分の進路を切り拓こうとしている人たちにならって、私たちも、ベストを尽くしていきましょう。

本校の全校生徒のみなさんも、昨年度、県中学総体やコンクールが中止になって、残念な思いをした先輩のことを思い出して、今できることを大事にしていきましょう。そして、「自分自身と母校への誇り」を持って、それぞれの場所で、学習面、生活面、運動面、文化面でひたむきに努力していつてくれることを期待しています。

1学期末の予定について

- 7/ 2 ネットトラブル防止教室（1年）、薬物乱用防止教室（2年）
- 7/ 5 朝会（県総体・コンクール壮行会）
- 7/ 9 地震を想定した訓練
- 7/15、16、19 三者懇談
- 7/18～ 県総体スタート
- 7/20 終業式

一 編集後記 一

季節は巡っていきます。夏至を過ぎ、暑さが増していきますし、梅雨末期の大雨も心配されます。熱中症対策、感染症予防対策、交通安全対策、水の事故対策等に努め、健康と安全第一の生活を心がけていきたいものです。明日からの期末テストでの健闘を祈ります。